

## 「施策」総括票

施策展開	5-(4)-ウ	優れた人材を育み地域の発展に寄与する高等教育の推進
施策	①大学等の教育研究環境の充実及び地域貢献活動の促進	371頁
対応する 主な課題	<p>○少子高齢化、グローバル化などを背景に多様化・複雑化する社会的、時代的要請に的確に対応できる専門的な人材を育成していくためには、県内大学等の独自の理念を掲げた学校運営を尊重しつつ、ニーズに対応した特色ある教育研究を促進する必要がある。</p> <p>○また、大学等の社会貢献が求められる中、大学等が持つインフラや生み出した優れた研究成果等を県民生活の向上やものづくり産業振興に結びつけるなど、高等教育機関と地域等が連携し、地域社会への還元につながる取組を促進する必要がある。</p>	
関係部等	総務部、企画部、福祉保健部、文化観光スポーツ部	

### I 主な取組の推進状況(Plan・Do)

(単位:千円)

平成24年度				
主な取組		決算見込額	推進状況	活動概要
<b>○教育環境及び共同研究の充実</b>				
1	県立看護大学運営・施設整備	211,700	順調	<p>○沖縄県立看護大学の円滑な運営を図り、教育等に安全で良好な環境を提供した。(1)</p> <p>○沖縄県立芸術大学の運営、必要な整備の推進を行った。(2)</p> <p>○沖縄県立芸術大学における教育研究活動を推進し、創造的芸術文化の発展を担う人材の育成を図った。(4)</p> <p>○海外とのネットワーク構築に向けて国際共同研究2件の支援を実施した。(6)</p> <p>○沖縄の生物資源、医療・健康等の各種テーマに基づく県内外研究機関・企業との連携による共同研究(4件)を実施した。(7)</p>
2	県立芸術大学運営・施設整備	203,431	順調	
3	県立芸大アートマネジメント講座設置検討事業	—	順調	
4	教育研究事業費	167,727	順調	
5	私立専修学校等運営費等支援	40,971	順調	
6	国際共同研究拠点構築(知的・産業クラスター形成推進事業)	198,804	順調	
7	知的クラスター形成に向けた研究拠点構築事業	592,938	順調	

様式2(施策)

8	県立看護大学における地域貢献	15,686	やや遅れ	○沖縄県立看護大学付属図書館の学外者の利用サービスを実施したが、図書館の学外利用者数は、計画値4,600人に対し3,599人とどまったため、やや遅れとなった。(8) ○一般県民を対象とした公開講座、オープンキャンパス、高校生を対象としたサマースクール、離島に出向く移動大学を実施した。(9)
9	県立芸術大学における地域貢献活動の推進	—	順調	
10	地域における研究者の研究成果の情報発信	—	順調	

II 成果指標の達成状況(Do)

(1) 成果指標

	成果指標名	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
1	県立看護大学卒業生数(累計)	851人 (23年度)	934人 (24年度)	1,334人	83人	—
	状況説明	平成24年度の県立看護大学卒業生数は83人であった。今後も、県立大学の運営、教育研究の充実を図り、本県の保健福祉の向上に貢献する看護職者及びリーダーの育成を図る。				
2	県立芸術大学卒業生数(累計)	2,842人 (23年度)	2,972人 (24年度)	3,549人 (28年度)	130人	—
	状況説明	平成24年度の県立芸術大学卒業生数は130人増加であった。独自の理念を掲げた大学運営を尊重しつつ、引き続き必要な施設の整備、教育研究活動の推進等を実施し、平成28年度目標値の達成を図る。				
3	沖縄県立芸術大学の就職内定率 (新規学卒者の求人・求職・就職の状況報告)	58% (23年3月卒)	58% (25年3月卒)	向上	0ポイント	—
	状況説明	県全体の就職率も向上していることから、沖縄県立芸術大学の就職内定率は、依然として県内大学の就職内定率(平均値)に追いつくことができていない状況である。引き続き就職支援アドバイザーの設置等を実施し、就職内定率の向上を図っていく。				

様式2(施策)

(2)参考データ

参考データ名	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
	22年	23年	24年		
県立看護大学図書館入館者数(累計)	5,578人 (22年)	4,580人 (23年)	3,599人 (24年)	↘	2,859人 (平成22年度全国756大学平均)
県内:沖縄県大学就職指導研究協議会調査 (新規学卒者の求人・求職・就職の状況報告:6大学)	58.7% (23年3月)	65.9% (24年3月)	69.4% (25年3月)	↗	—

Ⅲ 内部要因の分析(Check)

○教育環境及び共同研究の充実

- ・平成24年度の県立看護大学の国家試験合格率は、全国平均の96.0%を上回る97.5%となったが、保健師2名、看護師2名の不合格者がでた。
- ・国際共同研究事業については、研究テーマの公募において3年間研究を継続した後、評価委員会において継続の可否を評価することとしていた。しかし、選定委員会において、年度毎の評価の必要性を指摘された。

○地域貢献活動等の促進

- ・県立看護大学図書館入館者数は、近年減少傾向にあり、利用利便性の向上等を図る必要がある。
- ・県立芸術大学における地域貢献活動の総合窓口となる部署が設置されていないため、外部ニーズとのマッチングが有効に機能していない。

Ⅳ 外部環境の分析(Check)

○教育環境及び共同研究の充実

- ・県立芸術大学において、社会変化に対応し魅力ある大学としてさらに発展するため、評議会への外部委員導入及び大学運営におけるPDCAサイクルの導入が求められている。
- ・平成24年3月の沖縄県立芸術大学あり方検討委員会において、沖縄県県立芸術大学にアーツマネジメント領域の学科等が開設されることが提言された。
- ・本県の大学進学率は全国平均を下回っているが、専修学校進学率は全国平均を上回っており、高校卒業生の進学先として専修学校が大きな役割を果たしており、今後も県内における専修学校へのニーズは高いものと考えられる。

## V 施策の推進戦略案(Action)

### ○教育環境及び共同研究の充実

- ・県立看護大学との連携会議を年に2回開催し、課題の把握、検討を行い、国家試験合格率100%を目指す。
- ・国際共同研究事業については、評価委員会を毎年度末に開催し、当該年度実施した研究内容及び次年度以降の取組内容の評価を行う。
- ・県立芸術大学運営・施設整備については、大学の最高意思決定機関である評議会に外部委員を導入し、大学運営に県民視点を導入する。また、独立行政法人大学評価・学位授与機構による認証評価を受けて運営の改善に繋げる。
- ・県立芸大アートマネジメント講座設置検討事業について、アーツマネジメント領域に対する学生のニーズを把握するため、学生による授業評価アンケートを分析し、アートマネジメント領域についての教育研究体制を検証する。
- ・高等教育の推進に寄与する専修学校の振興のため、学校、関係団体と連携して、引き続き専修学校に対する支援及び退職金共済掛金、長期給付掛金への間接補助を行っていく。

### ○地域貢献活動等の促進

- ・県立看護大学図書館の利用利便性の向上が図られるよう、県立看護大学内で検討委員会を設置し、入館利用許可書の改善などについて検証していく。
- ・県立芸術大学における地域貢献活動の推進については、地域連携及び地域貢献活動の総合窓口等の設置を検討する。